

第 1 回

太宰府市立学校給食改善研究委員会

議事録

太宰府市教育委員会

第 1 回 太宰府市立学校給食改善研究委員会 議事録

- 1 日 時 平成 2 7 年 1 0 月 2 9 日 (木) 午後 7 時 ~ 午後 8 時
- 2 場 所 太宰府市役所 3 階 庁議室
- 3 出 席 者 **【委員】**
百武委員、大石委員、椎葉委員、石内委員
古田委員、中島委員、大谷委員
【事務局】
木村教育長、教育部長堀田、学校教育課長森木
義務教育係長鳥飼、学校教育課主事朝川
学校教育課栄養士梅田
- 4 傍 聴 者 0 名
- 5 議 事 (1) 委嘱状交付
(2) 教育長あいさつ
(3) 委員紹介
(4) 太宰府市立学校給食改善研究委員会について (事務局より)
(5) 委員長・副委員長の選出
(6) 委員長・副委員長あいさつ
(7) 資料の説明
① 太宰府市の小学校の現状
② 太宰府市の中学校の現状
③ アンケート結果 (H16 年度実施) について
④ その他
(8) アンケート調査について
・対象者について
・アンケート内容について
(9) その他

6 審議内容

○事務局（森木課長）

皆様、こんばんは。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

只今より、第一回太宰府市立学校給食改善研究委員会を開催いたします。本日司会を務めさせていただきます、太宰府市教育委員会学校教育課長しております、森木と申します。

どうぞよろしく願いいたします。着座にて進めさせていただきます。まず、本日の委員会につきまして2点お願いがございます。

一点目といたしまして、議事録作成の関係からご発言内容につきましては録音機器を使用させていただきますことにつきまして、ご了解をいただきますようお願いいたします。

2点目でございますが本日の委員会は委員の皆様、教育委員会事務局の職員のほかに次回の委員会から傍聴人の入室があるかもしれません。

以上2点につきまして併せてご了解くださいますようお願いいたします。それではお手元のレジュメに沿って進行させていただきます。

一番目の委嘱状交付に移ります。

只今から委員にご就任いただく皆様に、太宰府市教育委員会木村教育長より委嘱状の交付を行います。

お名前を呼ばれた方は、前にお進みください。

【辞令交付】木村教育長

大石明子様、椎葉邦子様、石内美穂様、古田信也様、大谷賢治様
百武シズ代様、岡撰様（欠）、中島英幸（遅参）

続きまして、太宰府市教育委員会を代表して教育長の木村甚治がご挨拶申し上げます。

○事務局（教育長）

改めましてこんばんは。

今日はお忙しい中にお集まりいただきましてありがとうございます。

今委嘱状を交付させていただきましたけれども、本委員会が20数年前に設置をいたしまして、小学校の給食でありますとか、中学校の給食を

含めて、給食を考えるいろんなご意見を賜りまして設置をした委員会でございます。

そういう中で、今回特に中学校の給食についていろいろ考えていこうということで今回開催をさせていただいたところでございます。

現在太宰府の中学校の給食は牛乳給食として、牛乳を全生徒に提供いたしております。それ以外には選択式のランチサービスという方法をとっております。希望する者についてはランチサービス、それ以外の方は弁当ということで提供しているところでございます。

ランチサービスも平成 16 年度から中学校給食をどうするかという議論がございまして、実施は 18 年からそういうところで現在までできておりますが、その間いろんな社会情勢あるいは全国で 9700 ほど中学校がございまして、その中でもだいたい給食実施が 86% ほどされておるような状況にございまして、福岡県内でも現在 85% ですかね、そのくらいあります。その中でいろいろと太宰府市内でも中学校給食の実施の要望等が挙がってございましたけれども、特に先の市長選におきまして新たに就任されました芦刈市長もまた、中学校給食を実施したいということを選挙公約に出されたものですから、今の中学生たちに食育あるいは食の教育としてどういうものが望ましいかということをごきん方それぞれ専門的な知識あるいは経験等からご意見いただきまして、どのように実現していくかということに次につなげて早急に考え方をまとめていきたいと考えているところでございます。

そういうところから、今日は主に学校給食会として保護者の立場あるいは学校の先生の立場、そして小中学校の現場の先生方の代表という方からご出席いただきましてそれぞれ忌憚のないご意見を賜りまして、そしてどのような給食が提供できたらいいなというのをご意見賜ればなと考えておるところでございます。それから、中学生のいろんな面から給食のどういった在り方がいいかというのをいただきたいと思っておりますので、お忙しいかとは思いますがよろしくお願ひしたいと思っております。以上で終わります。

○事務局（森木課長）

3 番目の委員紹介。ここで、このたび太宰府市立学校給食改善研究委員会の委員にご就任頂きました委員の皆様をご紹介いたします。

お一人ずつお名前をご紹介いたしますので、ご起立いただきますようお願いいたします。

精華女子短期大学非常勤講師の百武シズ代様、福岡女子短期大学食物栄養科教授大石明子様、大野城市立大野南小学校講師椎葉邦子様、太宰府市立水城西小学校栄養教諭石内美穂様、太宰府市立国分小学校校長古田信也様、太宰府市立学業院中学校 PTA 会長大谷賢治様

ありがとうございました。

続きまして事務局の紹介をさせていただきます。

まず始めに太宰府市教育委員会教育長木村甚治です。

つぎに太宰府市教育部教育部長の堀田徹です。

つぎに学校教育課義務教育係長鳥飼太です。

つぎに学校教育課義務教育係朝川貴浩です。

つぎに学校教育課義務教育係栄養士梅田宏美です。

以上、よろしく願いいたします。

レジュメの 4 番目に移ります。

太宰府市立学校給食改善研究委員会について、ここで本委員会につきまして事務局からご説明いたします。

(鳥飼) はい。それではお手元の資料のレジュメの次のページ、1 ページという風にしたページをお開き下さい。失礼しました、まず 2 ページ目のですね、規則の方からご説明させていただきます。まず、本委員会の所掌事務および組織並びに任期につきまして、第 2 条及び第 3 条並び第 4 条に掲げさせていただいているとおりでございます。また、委員長副委員長の選任解任につきましては第 5 条第 6 条に掲げさせていただいている通りでございます。続いて本委員会を開催することになった経緯につきましては 1 ページに戻っていただきまして記載させていただいている通りでございます。次に、本委員会の目的および進行方法についてご説明いたします。本委員会は太宰府市立学校給食改善研究委員会規則第 2 条 1 項 1 号に基づき太宰府市が置かれている現状等を考慮しながら成長期にある中学生にとって心身の望ましい発達及び健康管理の面から太宰府市における中学校給食のもっとも望ましい形態について調査・研究することを目的といたしております。また、安全安心な学校給食、生徒の心身の育成について、市民、教職員、保護者、生徒等の意見を十分に考慮しながら審議を行っていただきますようお願いいたします。以上でございます。

(森木) それでは、次に委員長、副委員長の選任に移らせていただきます。

先ほどの説明にもありました通り、委員長、副委員長は規則第5条によりまして各1名を委員の皆様の互選により選出することとなっております。委員の皆様、いかがいたしましょうか。

(大谷) すみません、よろしいでしょうか。

(鳥飼) はい

(大谷) 今日初めてお会いする方も私の場合多ございますので、できましたら事務局の方で何か提案することがございましたら、そちらのほうで紹介いただければと思います。

(森木) ただ今、事務局案を、というお声が挙がりましたが事務局より案を示してよろしいでしょうか。

(鳥飼) はい、それでは事務局案を申し上げます。事務局から委員長、副委員長を提案させていただきます。委員長には福岡女子短期大学食物栄養科教授を務めておられます大石委員を、副委員長には福岡県の学校給食会の評議員をつとめておられます百武委員を提案させていただきたいと思っておりますので、御審議のほどよろしくお願いいたします。

(森木) ただいま事務局より委員長に大石委員、副委員長に百武委員との提案がございましたがいかがでしょうか。

(一同) 意義なし

(森木) 異議なしとの声がございましたが大石委員、百武委員お受けいただけますでしょうか。

(大石委員・百武委員) はいお受けいたします。

(森木) ありがとうございます。それでは大石委員と百武委員は前の委員長席、副委員長席にご移動をお願いいたします。

それではここで委員長、副委員長からご挨拶をいただきたいと思っております。

まず大石委員長からお願いいたします。

(大石) ただ今委員長に選任されました大石と申します。いろんな先生方がおられる中で若輩の私でよろしいのかと思うんですけれども不慣れではございますが精一杯務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

(森木) ありがとうございます。続いて百武副委員長お願いいたします。

(百武) はい、大石委員長を補佐していきます百武でございます。皆様と力を合わせて中学生の子どもたちの健康が守られていくような方向に進めていけたら幸せと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

(森木) ありがとうございます。この後、議事の進行は本委員会規則にのっとり委員長に進めていただきます。よろしくおねがいたします。

(大石) それでは、ここからの議事の進行は私の方で進めさせていただきます。レジュメの7番、資料の説明について事務局からお願いいたします。

(鳥飼) はい、それではお手元の資料多ございますけれども、第1回太宰府市立学校給食改善委員会と書いたこちらの資料、よろしいでしょうか、こちらのご説明をさせていただきたいと思えます。

太宰府市の小学校の現状についてということで説明させていただきます。1、児童数についてでございます。現在市内には市立の小学校は7校ございます。4,150人の児童が在学しておりますが、平成元年当時5,380人いた児童は平成13年度まで年々減少いたしまして、3,410人まで減少いたしました。しかし、平成14年度以降は増加に転じ、わずかながらも増加を続けておりましてその傾向は現在も変わっておりません。また、地域の東部西部の人口にも大きな差が生じておりまして、現在児童数が最も多い水城西小学校で828人、最も少ない太宰府東小学校で337人となっております、約2.5倍の開きが生じております。児童数の推移ということで平成元年以降のグラフを表示させていただいておりますのでご覧いただければと思います。それからその下には、小学校毎のですね児童数の推移を載せさせていただいております。

続きまして、2ページでございます。給食についてでございます。太宰府市の小学校給食は、7校すべて自校方式による調理を実施しておりま

す。平成 8 年度より学校給食の調理業務を民間委託化しており、現在 7 校のうち 6 校を民間委託しております。各学校の調理方法、委託業者名等は以下の表ですね、ご覧いただければと思います。また、特徴的な取り組みといたしまして、平成 25 年度より友好都市姉妹都市盟約を締結している国内の 3 つの友好都市、海外の 1 つの姉妹都市との絆や理解を深めるために交流給食事業といたしまして友好都市姉妹都市の郷土料理を給食で提供しております。交流給食事業を実施する際には、教育長をはじめとして教育委員会で小学校 7 校のうちの 1 校を訪問いたしまして、その都市の歴史的な繋がり等を話していただいた後、子どもたちと一緒に給食を食べておられます。

続きまして、給食におけるアレルギー対応についてでございますが、太宰府市にも他の自治体と変わりなく年々アレルギーを持つ児童が増加傾向にあります。太宰府市では、アレルギーに対する統一的な対応を図るために対応指針を作成して対応して参りましたが、各学校の施設の違いやアレルギー対応の多様化などによりまして、各学校の対応にも若干の違いが生じてまいりました。改めて、各学校の具体的な対応策の統一を図るために現在アレルギー対応マニュアルの作成を進めております。各学校の対応状況につきましては 3 ページの各学校のアレルギーの対応状況の表をご覧いただければと思います。よろしく願いいたします。

続きまして、4 ページをお開き下さい。太宰府市の中学校の現状ということでご説明させていただきます。まず生徒数でございますが、現在市内には市立中学校が 4 校ございます、1,930 人の生徒が在学しております。生徒数は平成元年から平成 17 年度まで年々減少しておりましたけれども平成 18 年度以降微増に転じておりまして、現在はほぼ横ばいの状態でございます。また、徐々にではありましたが、各学校の生徒数に違いが生じておりまして現在は最も多い学業院中学校で 776 人、現在最も少ない太宰府東中学校で 249 人の生徒がおりまして、約 3 倍の開きが生じている現状でございます。先ほどと同じように生徒数の推移ということで平成元年以降のグラフと各学校ごとの生徒数の推移をグラフで示させていただきます。よろしくお願いたします。

続きまして、給食についてランチサービスの現状ということでご説明させていただきます。5 ページをお開き下さい。太宰府市の中学校給食はミルク給食で実施しております。主食は各家庭からの弁当かまた、売店でのパン販売の購入またはランチサービスの利用のいずれかを選択いただくことになっております。ランチサービス導入に至る経緯は、こち

らの1番に示させていただいている通りでございます。後ほどご覧いただければと思います。

続きまして、ランチサービスの概要についてご説明させていただきます。平成18年12月から始まりましたランチサービス事業でございますけれども、成長期にある生徒の心身の発達、健康の保持、増進に必要なカロリーや栄養価に配慮した安全な食品をバランスよく摂取させることを目標としております。また、配食準備等の活動を通じまして、責任感や自主性、相手を思いやる気持ちを育むことも目標の一つとしております。献立につきましては教育委員会の栄養士と委託業者の栄養士が協力しまして栄養やメニューのバランスを考えて作成しております。なお、献立の内容は4中学校統一で栄養面やカロリーのバランスが取れた内容となるように努めております。調理は委託業者が衛生的に行い配送の専用のコンテナに入れまして、適切な温度で学校へ配送させております。学校到着後は生徒の昼食時間まで配膳室で衛生的に管理しております。続いて、利用料金でございますけれども一個360円のランチサービスでございますけれども、現在保護者の負担額は1個300円でございます。差額の60円につきましては運搬経費相当額ということで、太宰府市が負担させていただいております。次に、ランチサービスの利用状況でございますが、ランチサービス開始当初は1日当たり平均で200食を超えている状況でございましたが、様々な理由から年々減少いたしまして平成25年度は90食まで減少することになりました。そのため、平成26年度からランチサービスの普及促進を図る目的で利用料金の値下げやより利用しやすくするための様々な工夫を行った結果、現在は1日当たりの利用平均が140個まで回復している状況でございます。以上、駆け足ではございましたが資料の説明をさせていただきました。

(大石) それでは、ここから議題に移らせていただきたいと思います。レジュメにもあります通り事務局より今回のアンケート調査の実施について提案がされております。まず代表者について皆様からのご意見をいただきたいと思います。

前回のアンケートについては何かご説明がありますか。

(鳥飼) はい、それではアンケート調査結果ということで、別紙で説明させていただきます。さきほどの資料の9ページをお開き下さい。平成16年当時今回と同様に太宰府市の中学校給食の実施につきまして検討する材料の一つとしてアンケート調査を実施いたしました。こちら9ペー

ジにあります通り対象者は中学校 1、2 年生とその保護者、小学校 5、6 年生とその保護者、それから中学校教師、一般市民を対象に民間の調査会社に委託し、実施いたしました。調査結果につきましては、内容が多岐にわたりページも多いのでご自宅でご覧いただければと思います。以上でございます。

(大石) 今回の平成 16 年の時と同じような調査をということを事務局の方ではお考えのようなのですが、そこにありますように前回は中学校の 1, 2 年生の生徒さんと保護者、それから 5, 6 年生の小学校の児童とその保護者、中学校の先生方と一般市民ということでかなりたくさんの数のアンケートを配布して調査を大規模にされたようなんですけれども、今回の調査につきましても同様な対象で行うのかをですね、議員の皆様方のご意見を伺いたいところなんですけれども今ご意見がございましたら…

(大谷) これって、一般市民の方にお尋ねを前回されてあるみたいですが、実際に利用はされないんですかね。

(鳥飼) はい、利用はされません。

(大石) 今回皆様今日初めてこの資料をご覧になってるんですかね。

(鳥飼) はい、そうです。

(大石) アンケート内容について、お気になるところとは思いますが、対象と併せてアンケートの内容と併せて何か意見がありましたら……。対象は今日決めた方がいいですかね。

(森木) そうですね、内容につきましては今日初めて見られる皆様がほとんどでございますので、ある一定期間を設けましてそれまでに回答といいますか報告頂ければと思います。あと、できれば対象につきましては本日決めさせていただければと、いうふうに思っております。

(堀田部長) 一つ確認というか捕足させていただいてよろしいですか。さきほど 9 ページから示しておりますアンケートの件でございますけれど

も、このアンケートは、太宰府市議会の特別委員会、給食に関する特別委員会が設置されまして、その特別委員会の要請により市教育委員会が実施したものでございます。今回は、先ほど教育長の方からも話がございましたけれども、市長の公約ということで給食実施についてという意見具申がありましたのでそれに基づいてこの学校給食改善研究委員会を開設したところでございますけれども、これと並行しまして、市議会の方にもやはり 10 年前と同じような給食に関する特別委員会が設置をされて、今回のこのアンケート調査というのはあくまでも学校給食改善研究委員会としてのアンケート調査ということでございます。ただその、参考になる資料ということで 10 年前のアンケートをつけさせていただいておりますし、また別紙で中学校給食に関するアンケートで実際に 10 年前に実施したアンケートの内容を、9 ページから載ってる分はその集約結果ということです。一つ目はその、そういう風なアンケートということで、議会とそれから学校給食改善研究委員会と併せて進行していくことを承知しておいていただきたいということと、それから先ほどの対象でございますけれども、これからいろいろ検討していただくわけですが、委員さんのこの委員会の任期が一応 1 年ということになっております。その 1 年間で、研究した結果を教育委員会の方に報告をしていただくこととなりますが、1 年後にそういう結果等をみていきまして実際に給食をじゃあどの時点から実施していくかということになりますと、当然来年度からいうわけはなりませんし、早くて平成 29 年度あるいはそのあり方によってはもっと先 2 年先ぐらいになる可能性もございますので、そこら辺を見越したうえでのアンケート対象というのもご意見をいただければと思います。以上、2 点。

(大石) では、ご説明がありましたように前回のアンケートの定義は、今のご説明のとおりということで、そういったことを踏まえまして学校給食を検討するのにあたって、様々な方の意見を集約するということでのアンケートですのでそのあたりを含めて対象をどのようにするかというのを、どなたかご意見をいただきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

(森木) 今、アンケートの内容をご覧になられていると思いますけれども、レジュメの一番最後の 5 ページをお開きいただきますでしょうか。事務局の方で、スケジュール案を作成しております。本日 10 月 29 日委

嘱状公布等を行いまして、第2回目を年が明けまして1月の中旬に予定させていただいております。この中身といいますのが、本日先ほどからお話をしておりますアンケートの案についての協議ということでアンケートの中身、それからアンケートの対象者も含めた形で、ご協議をいただこうかという風に考えておりますので今事務局の方にある程度意見をいただきまして、それを取りまとめて年が明けました1月中旬に皆様から頂きました案を基に、ある程度のアンケートの内容も含めまして対象も含めた形で提案をさせていただきたいなという風に考えておりますけれども、いかがでございましょうか。

(堀田) 今日一日ではなかなかですね、ゆっくりお読みいただいて、この間次の第2回目までにもしお気づきの点とか、この内容を変えたらどうかとかおかしいんじゃないかとかそういった意見がございましたら随時、1月の第2回目までの間に事務局の方にご意見いただけましたらそういったことも参考にさせていただいてですね、アンケートの案ということで次回ご提示ということでよろしいですかね。

(鳥飼) それでは、今お手元にアンケートにつきましての自由意見をご記入いただいご報告いただく用紙を、配布させていただきます。こちらにご記入いただきまして事務局までご提出いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

(大石) 期日はございますか。

(鳥飼) そうですね、できますれば、1カ月程度以内にいただければ助かりますが。

(大石) それでは委員の皆様、11月いっぱいくらいでご意見とかを今お配りになられました用紙にご記入いただいて事務局の方にご提出ということによろしいでしょうか。では、そのようにお願いいたします。アンケート内容についてのご意見もこちらの方にご記入いただいて、前回のアンケートの質問項目とかそういったのも踏まえた上でのご意見ということでお願いいたいと思います。この中に対象も含めていいのでしょうか。

(鳥飼) はい、お願いいたします。

(大石) 先ほど教育部長のお話を伺いますと、やっぱり今から食べるであろう小学校の児童の方であるとか、給食がない状態でランチサービスをご利用されていたり、お弁当を持参されている今の中学生のご意見とそこ
ご家族の皆様、前回ありました一般市民の方というのは太宰府市の子どもたちに関わるアンケートということで市民の皆様のご意見も頂きたいと思しますので、どういったのが必要なのかというところも含めてご意見を頂戴できればと思います。

では、11月の末を目途に事務局の方にご提出いただきますようによろしくお願いいたします。

それでは

(鳥飼) すいません、若干補足よろしいですか。資料のまだお手元にご紹介しきれていない資料をお配りさせていただいておりますので、そのご紹介をさせていただいてよろしいでしょうか。

まず、こちらにA4版で表裏に刷っております1枚ものの用紙ですけれども、こちらは春日市さんが発行しておられます食育便りということで参考資料ということでお配りさせていただいております。

それからもうひとつこれはA6版ですかね、いくつか折り畳み式になっておりますけれども、こちらは大野城市さんが今実施してあります太宰府市と同様のランチサービスにつきましてご説明といたしますかPRのために発行してある資料でございます。

それからA3版のものを折りたたんだ表になった資料がお手元にあると思いますけれども、こちらは県内の近隣の他市町に給食の実施状況等をお尋ねしまして、それをまとめさせていただいた資料でございます。まず1枚目につきましては、給食を実施してある自治体をまとめた表でございます。これはA3版の表裏になっております。その次が、私ども太宰府市と同じように選択型の給食ですね、ランチサービスを実施している近隣の自治体の状況をまとめさせていただいている表でございます。それから次の三枚目におきましては、こちら私ども調査と同時に先ほど教育長がご説明させていただいた中に市議会の特別委員会が設置されてあるという風な説明があったと思いますけれども、その特別委員会のほうでアンケートを取られまして、その結果をいただきましてまとめさせていただいた表でございます。これはA3版の表裏とそれからA4になっておりますけれども、こちらまでまとめたところが説明させていただいた特別委員会の調査項目の表でございます。こちらも参考にご覧になられていただければと思います。よろしくお願いいたします。以上でご

ざいます。

(大石) 今の資料のご説明で何かご質問とかは無かったですか。

(一同) なし。

(大石) 配布の資料がたくさんございますけれども、目を通していただきたいと思います。それでは、進めて大丈夫ですか。

(鳥飼) はい。

(大石) レジユメの9番のその他に行きたいと思っておりますけれども、皆様から何かございますでしょうか。

(一同) なし。

(大石) 特にないようでしたら、最後に次回の開催日程について皆様からのご意見をいただきたいと思っております。事務局案では、第2回の本委員会開催は平成28年1月中旬とありますけれども、具体的な日程を決めますか。

(鳥飼) 事務局案としましては、3日間ほど事務局案ではございますけれども、提案させていただいてよろしいでしょうか。

(一同) はい。

(鳥飼) 1月14日木曜日、15日金曜日、それから翌週の21日の木曜日。以上でございます。3日の中から皆様のご都合がよろしい日にとっておりますが、いかがでしょうか。

(大石) 皆さんのスケジュールはお分かりになりますかね。
時間は今日と同じくらいの時間ですかね。

(鳥飼) そうですね、お仕事がございますから。

(大石) ご都合の悪い日程があたりになるという方はおられますか。

(大谷) 私は、15日が所用が入っておりますので今の時間帯しか・・・

(大石) 14日と21日はいかがでしょうか。

そうしましたら今のところご都合の悪い日が15日ですので14か21と
いうことで・・・

来年の事ですし、スケジュールがわからないという方もおられると思
いますので、お帰りになられてもしご都合が悪い日があったら事務局の方
にご連絡いただくということはいかがでしょうか。14日の木曜日か翌週
の21日の木曜日ということでご確認いただきたいと思います。お時間
は、今日と同じ19時くらいですね。

(鳥飼) そうですね、本日いらっしゃってない中島委員さん、岡校長先生
のご都合もあるかなとは思いますが。

(大石) 事務局の方から、また開催の通知とかは・・・

(鳥飼) はい、送らせていただきます。決定次第送らせていただきます。

(大石) では、そのようにさせていただきたいと思います。他になれば以
上をもちまして第1回太宰府市学校給食改善研究委員会を終了させてい
ただきたいと思います。本日は大変お疲れ様でした。